

令和8年度 福岡市中央区民生委員児童委員 こども家庭部会研修会の報告

令和8年8月7日（金） 10:30～12:00

於：福岡市舞鶴庁舎 2階 大研修室



～ 不登校当事者や保護者の支援について ～

令和8年8月7日（金）10:30～12:00 福岡市舞鶴庁舎 2階 大研修室で福岡市中央区民生主任児童委員研修会が行われました。ぼちぼちの会会長木村が講師としてお話をさせていただきました。今回は不登校の実態と、何が不登校を難しいものになっているのかの課題を中心にお話しさせていただきました。特に、子どもと大人の目線や考え方の違いや、「困っている子ども」にどう対応したらよいかを具体例をあげてお話をさせていただきました。第5地区の加留部会長をはじめ、中央区保健福祉センターの道脇係長、民生委員・主任児童委員など49名の方々の参加をいただきました。今後ともよろしく願いいたします。

1 はじめに

最近の不登校の状況と傾向・・・新聞報道記事の見方

2 不登校ということ

- ・誰にでも起こりうることであり特別な子どもに起こることではない
- ・不登校の何が問題か？・・・不登校は問題行動ではない
- ・何が・誰が不登校を難しいものになっているのか（本人の問題？）

3, 学校で困り感を持つ子どもに必要な対策は？

- ・今やるべきことは・必要なことは
- ・学校と保護者・家庭・地域との関係
 - 学校、病院、関係諸機関などとの関わり
 - 親子の関わり：わかっているようでわからない子どもの気持ち

4. 子どもを取り巻く環境

- ・地域・学校・家庭の関係
- ・大人と子どもの認識の違い
- ・どこに行っても大人のリーダーがいる。

5. 大人の倫理観：よかれとおもったことでも子どもには・・・

- ・子ども目線と大人目線の差
- ・大人と子どもの認識の違い

6. おわりに・・・主任児童委員さんに望むこと

孤立させない 寄り添う姿勢 共感と理解 正しい情報



感想・意見

- ・民生委員として地域でひきこもりの子の親を支援することが大切なのだと思います。また、知識も必要と感じた。
- ・不登校のレッテルを貼らないで対応してほしい、というのが一番心に残りました。
- ・「不登校は不利益である」という考え自体をなくしていく、考えの根本を改めていくことが一番大切だと感じた。
- ・児童委員としては地域の子供として接していく、特別視しないことも大切だと再認識した。
- ・オンラインで大学を卒業した子は、就職できたのか気になる。
- ・不登校の子供や保護者に接する機会は今のところないが、今日話を校区へ持ち帰り共有していきたい。
- ・すごくわかりやすかった。フリースクールのお話を耳にする機会があるが、ゲーム依存の子などいろいろな子供がいると聞く。
- ・民生委員として望むことの7項目がとても参考になりました。
- ・過去に不登校の子どもと家族と接する機会があり、声掛けや挨拶だけでしたが長い目で見守り続けて良かったと今は思う。
- ・今迄の「不登校」の講演で一番良かった。「子ども家庭部会」だけではなく、民生委員さん全員に聞いてもらいたい。
- ・持ち帰り用資料が欲しかった。
- ・不登校のいる家族を支援したいが、出会う機会が難しい。たくさんいるとは思いますが・・・。
- ・身の回りに不登校の子どもがいる家庭はたくさんあるが、どう接したらよいかわからないことが多く、勉強になった。
- ・病気（鬱を含む）は時間がかかっても治る、障害は慣れる、障害に慣れるには子ども

もにとって集団生活が必要という話が強く記憶に残った。

- ・学校からは情報をもらえない。校区の民生委員は逆に近すぎて個人情報漏れることを心配しているのだろうか？

- ・今日のような内容の研修は初めてでした。今回の研修内容を今後の活動に役立てたい。

- ・不登校の固定概念を持たない事、情報を提供することが民生委員のすぐにできるという事と改めて教えていただいた。

- ・子ども家庭部会の委員は初めてなので、とても勉強になりました。

- ・「わかっていることを言われると腹が立つ」→対応の仕方でいくらでも変わっていく、当たり前なことだが難しいと感じた。

- ・子ども目線で考えていくことの大切さや子どもの不利益な環境を変えていく事の重大さがよく理解できた。

- ・木村先生の講演がとても良かった。

- ・不登校とは学校に行かないことが問題なのではなく、不利益になっていることが問題ということを改めて考えさせられた。

- ・民生委員として高齢者情報はたくさん入ってくるが、児童の情報、特に担当地区の子ども会との繋がりをもう一度検討するべき多と思った。

- ・不登校児童（生）発達障害の割合が増え続けている、切っても切れない問題なのかもしれない。

- ・「義務教育」＝「学校に行って授業を受ける」という固定概念がある限りは柔軟な対応は難しいのでは？

- ・子どもは大人になる、大人になった時の居場所&収入を得られる場がないと子供や保護者の不安は薄くならないと思う。

- ・では、どうしたらよいか？これからのことを伺いたかった。

- ・個々に寄り添うことが大切だと身をもって感じています